

令和 8 年 度

深浦町教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書

—令和 7 年度の実績—

令和 8 年 9 月

深 浦 町 教 育 委 員 会

目 次

I	教育委員会事務の点検及び評価について・・・・・・・・・・	1
II	教育委員会の活動について・・・・・・・・・・	3
	令和7年度 深浦町教育施策の方針・・・・・・・・・・	4
	施策別重点項目事務事業一覧・・・・・・・・・・	5
	令和7年度 教育委員会事務事業点検及び評価表・・・	8
	○教育課 学務係・・・・・・・・・・	8
	○教育課 社会教育係・・・・・・・・・・	1 1
	○深浦町公民館・・・・・・・・・・	1 2
	○深浦町歴史民俗資料館・・・・・・・・・・	1 2
	○深浦町公民館岩崎分館・・・・・・・・・・	1 3
	○深浦町公民館大戸瀬分館・・・・・・・・・・	1 3
	○深浦町歴史民俗資料館・・・・・・・・・・	1 4
	○深浦町美術館・・・・・・・・・・	1 4
	○太宰の宿 ふかうら文学館・・・・・・・・・・	1 4

I 教育委員会事務の点検及び評価について

1 事務点検及び評価の考え方

(1) 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会では、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取組状況について、達成度・必要度・方向性等を自ら点検評価を行い、今後の取組の方向性や課題を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進を図っていきます。

また、結果に関する報告書を作成し、町議会へ提出するとともに町民にも公表することにより、説明責任を果たし信頼される教育行政を推進することを目的としています。

(2) 点検・評価の方法

① 深浦町教育施策の方針

町教育委員会では、毎年度「深浦町教育施策の方針」を定めるとともに、学校教育行政、社会教育行政、社会体育行政及び文化財保護行政などの各施策別に方針と重点項目を定め、具体的な事業を展開しています。

② 点検・評価の対象

今年度においての点検・評価にあたっては、昨年度に実施した施策別重点項目事務事業一覧に基づく主要事務事業を対象に実施しています。

各担当者が一次評価を実施し、教育課長が総合的な評価を行い教育長に提出します。

教育長は、「事務の点検・評価アドバイザー」を委嘱し、点検・評価の実施方法及び内容等について意見を求めるとともに、点検・評価の結果に関する報告書（案）を作成し、教育委員会で審議し議決を求めます。

◇令和7年度教育委員会事務事業点検・評価表シート

達成度：5区分で評価

「未達成」「期待以下」「ほぼ達成」「期待どおり」「期待以上」

必要度：5区分で評価

「低い」「やや低い」「普通」「やや高い」「高い」

方向性：5区分で判断

「廃止・休止」「縮小」「整理統合」「継続」「拡大」

2 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等の「点検・評価アドバイザー」からその実施方法や内容について意見をいただき、これを参考に点検・評価の実施と報告書の作成を行いました。

(1) 点検・評価アドバイザー

氏 名	役 職 等
葛西 清	葛西整骨院長
菊池久美子	元修道小学校長
渋谷 明子	めぐみ子ども園長

(2) 点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・令和8年7月23日開催
- ・アドバイザー委嘱3名
- ・「事務の点検及び評価について」説明
- ・報告書（原案）に関する意見

(3) 点検・評価アドバイザーからの主な意見

① 学校教育行政について

- ・PTA活動について、会員数が減少し、また、ひとり親世帯の割合が高い学校もある。PTAでのグラウンド整備、プール清掃と監視などに中々参加できずに肩身の狭い思いをしている家庭もあると聞きます。町には、作業機器の整備なども含め、協力してほしい。

② 社会教育行政について

- ・スポーツ講座事業について、ハロウィンウォーキングやスノーフェスティバルなどは、良く工夫されて事業を実施し、多くの参加者を得ている。参加者からも好評であったと聞いている。継続して、創意工夫を重ね取り組んでほしい。

③ 公民館事業について

- ・アンケート結果を反映した事業を実施し、また、ホームページやインターネットを通じて情報を提供されている。良い取組だと思います。

④ その他

- ・高等教育修学支援資金貸与事業について、何年か町に住むことで返済を軽減するような制度があつてよいと考える。いくらかでも人口減少の歯止めになり得ると思われるので、検討してほしい。
- ・総合計画の目標の中にある「学校教育ー1 確かな学力の向上」について、現在は教育委員会事業としてまでは、取り組めていないとの説明があつたが、どこまで町として力を入れられるのかわかりませんが、子どもたちが持ち合わせている能力を、そのまま伸ばしきれずに人生終わる子供もあるのかもしれない。そういう子どもをぜひ伸ばしていただきたいと切に思います。

Ⅱ 教育委員会の活動について

1 教育委員の構成

教育委員名簿（４人、任期４年）

職 名	氏 名	任 期	備 考
委 員	相 馬 真 司	R6.5.14 ～R10.5.13	教育長職務代理者 就任 H29.5.14
委 員	海 浦 由羽子	R5.5.14 ～R9.5.13	再 任
委 員	安 田 信 樂	R8.5.14 ～R12.5.13	再 任
委 員	中 村 真衣子	R7.5.14 ～R11.5.13	再 任

2 教育委員会の活動状況

深浦町教育委員会の会議は、原則として公開します。

また、月毎の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、教育長及び４人の委員が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに重要事項について事務局から報告を受けています。

(1) 教育委員会会議開催状況

開催回数	定例会	１２回
審議件数	２５件	
報告件数	３８件	
協議件数	２件	

(2) その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議への出席以外に、町主催の各種行事や教育委員会及び学校関係の行事等へ出席しています。

【主な行事】

町 関 係：山開き・海開き安全祈願祭、無縁仏供養会ほか

教育委員会関係：20才を祝う会、文化賞・スポーツ賞表彰式ほか

学 校 関 係：小・中学校入学式・卒業式、小・中学校訪問、町校長会ほか

令和 7 年度

深浦町教育施策の方針

深浦町教育委員会は、ふるさとに誇りを持ち、多様性を尊重し、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりに努める。

また、豊かな自然を生かした魅力ある町づくりを推進し、町民が互いに学びあい、共に成長し合う「共育」のまちづくりに取り組む。

そのために、

知・徳・体を育み、夢や志の実現をめざす学校教育

自己の学びを生かし、生きがいやつながりをつくり出す社会教育

ふるさとの自然・歴史と伝統に触れ、未来へ伝える文化活動

健康を増進し、喜びと感動を生み出すスポーツ活動

等の施策を、関係機関・団体との連携を図りながら推進する。

令和 7 年 5 月 2 7 日 決定

施策別重点項目事務事業一覧

施策分野		
	重点項目	事務事業 評価担当係
I 教育委員組織		
(1)教育委員会の活動	1 教育委員会会議の開催	学務係
	2 教育委員会事務局との連携	学務係
	3 教育委員の学校訪問	学務係
	4 校長会合同研修会への参加	学務係
II 学校教育指導の方針と重点		
(1)授業の充実	5 学校管理事業	学務係
	6 教育施設営繕事業	学務係
	7 学校評議員設置事業	学務係
	8 特別支援教育支援員配置事業	学務係
	9 学校用図書備品整備事業	学務係
	10 ICT環境整備事業	学務係
	11 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金事業	学務係
	12 スクールバス運転管理事業	学務係
	13 へき地児童生徒援助費等補助金事業	学務係
(2)体育、健康教育の充実	14 学校保健及び学校環境衛生事業	学務係
	15 児童生徒及び教職員健康管理事業	学務係
	16 日本スポーツ振興センター事業	学務係
	17 中学校体育奨励事業	学務係
	18 学校給食運営事業	学務係
(3)生徒指導の充実	19 生活指導協議会事業	学務係
(4)特別支援教育の充実	20 特別支援教育研究事業	学務係
	21 教育支援委員会事業	学務係
(5)国際化に対応する教育の推進	22 外国青年招致事業（JETプログラム事業）	学務係
(6)情報化に対応する教育の推進	23 情報教育の推進事業	学務係
	24 校務支援	学務係
(7)教育環境の整備	25 高等教育修学支援資金貸付事業	学務係
	26 高校生等通学支援事業	学務係

Ⅲ 社会教育行政の方針と重点		
(1)多様な学習機会の充実	27 深浦町小学生「生きる力」育成研修会	社会教育係
	28 町民講師「ふかうら達人倶楽部」活用事業	社会教育係
	29 生涯学習フォーラム事業	社会教育係
	30 深浦町生涯学習センター整備事業	社会教育係
(2)家庭教育の充実	31 スポーツ講座事業	社会教育係
Ⅳ 社会体育行政の方針と重点		
(1)健康づくり・スポーツ の充実	32 体育施設管理事業	社会教育係
	33 町立小・中学校の施設の開放事業	社会教育係
	34 旧青森県立木造高等学校深浦校舎運動場一般開放事業	社会教育係
Ⅴ 文化財保護行政の方針と重点		
(1)文化財保護・伝統芸能 継承の促進と啓発活動 の充実	35 文化財保護事業	歴史民俗資料館
	36 文化財保護団体の育成支援事業	歴史民俗資料館
(2)巨樹・古木保存活動の 充実	37 巨樹・古木保存事業	歴史民俗資料館

VI 公民館活動の方針と重点		
(1)深浦町公民館活動の 充実	38 深浦町小中学校俳句大会事業	深浦公民館
	39 文化祭及び作品展示事業	深浦公民館
	40 各種教室・講座開催事業	深浦公民館
	41 文化祭作品展事業	岩崎分館
	42 生涯学習事業	岩崎分館
	43 図書活動事業	岩崎分館
	44 社会文化会館の施設活用	岩崎分館
	45 ふれあいと創造の館の施設活用	岩崎分館
	46 生涯学習事業	大戸瀬分館
	47 図書活動事業	大戸瀬分館
(2)深浦町公民館岩崎分館 ・大戸瀬分館活動の 充実	48 大戸瀬分館の施設利用	大戸瀬分館
	49 文化祭作品展事業	大戸瀬分館
VII 歴史民俗資料館活動の方針と重点		
(1)歴史民俗資料館活動の 充実	50 歴史民俗資料館運営事業	歴史民俗資料館
	51 歴史教室開催事業	歴史民俗資料館
VIII 美術館活動の方針と重点		
(1)美術館活動の充実	52 美術館運営事業	美術館
	53 絵画コンクール開催事業	美術館
IX ふかうら文学館活動の方針と重点		
(1)太宰の宿ふかうら文学 館活動の充実	54 文学館運営事業	ふかうら文学館
	55 図書活動事業	ふかうら文学館
	56 子ども司書養成講座事業	ふかうら文学館

令和7年度 教育委員会事務事業点検及び評価表

No.	事 務 事 業 名	担当係	達成度	必要度	方向性	総合点検及び評価
1	教育委員会会議の開催	学務係	4	5	4	年間定例会12回実施し、25件の審議ほか、報告や協議も含め適切に審議を行った。 今後も教育に関する審議案件について適切に対応したい。
2	教育委員会事務局との連携	学務係	4	5	4	教育委員会と教育課等との情報を共有し連携を密に行い、概ね順調であった。
3	教育委員の学校訪問	学務係	4	5	4	町内小中学校の訪問を2日間の日程で行った。 管内各校とも町教委の示した方針と重点に基づき学校運営がなされていることを確認できた。今後も継続していきたい。
4	校長会合同研修会への参加	学務係	4	5	4	校長会が町長と教育委員会を招待し、学校教育の現状を報告し、今後の教育の在り方について研修会が行われた。
5	学校管理事業	学務係	4	5	4	町内小中学校5校における学校運営の安全管理に努めた。 今後も学校と連携しながら学校管理に努めたい。
6	教育施設営繕事業	学務係	4	5	4	学習環境改善減のため、順次LEDへの切替整備を実施しているほか、グラウンドの整地を行い児童生徒の安全確保に努めた。 複式学級の増加に伴い、教室背部への黒板設置を行った。
7	学校評議員設置事業	学務係	4	5	4	地域や社会に開かれた学校づくりを推進するため、各校の推薦に基づき学校評議員を委嘱した。 評議員の意見は、地域連携の部分で学校経営上の参考となる点が多い。また、この会議がきっかけで学校が地域と連携した教育活動を展開するケースもあり、学校と地域がつながる貴重な場と考えている。
8	特別支援教育支援員配置事業	学務係	4	5	4	通常の学級に在籍する教育上特別な支援を要する児童生徒を中心に、個々に応じた適切な支援を行うため、支援員を管内小・中学校に配置した。 特別支援学級在籍者が交流学习として通常の学級で学習する際に支援することも担っている。各校では支援員は運営上、欠かせないものであり、今後も事業継続の必要性は極めて高い。
9	学校用図書備品整備事業	学務係	4	5	4	学校図書充足率は年々向上しているものの、各校とも未だ低いことから、図書購入費を令和2年度から300千円に増額し整備を進めている。今後も継続的に進めていきたい。
達成度・・・1＝未達成			2＝期待以下	3＝ほぼ達成	4＝期待どおり	5＝期待以上
必要度・・・1＝低い			2＝やや低い	3＝普通	4＝やや高い	5＝高い
方向性・・・1＝廃止・休止			2＝縮小	3＝整理統合	4＝継続	5＝拡大

令和7年度 教育委員会事務事業点検及び評価表

No.	事 務 事 業 名	担当係	達成度	必要度	方向性	総合点検及び評価
10	I C T環境整備事業	学務係	4	5	5	各学校の1人1台端末の活用を支援するため、令和2年度整備した端末の更新を行った。(全校)また、I C T環境の推進を図るため会議を開催し、各学校の意見や要望等を傾聴した。
11	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金事業	学務係	4	5	4	小中学校児童生徒の中で、要保護及び準要保護児童生徒の就学援助の一環として、学用品・給食費等の扶助費を支給した。また、令和元年度から開始した「新入学学用品費」の入学前支給を継続して行った。
12	スクールバス運転管理事業	学務係	4	5	4	平成28年度から(株)ふかうら開発へ当該事業を委託し、登下校時の運転業務を中心に、校外行事等への送迎も行った。 今後も児童生徒数の減少など将来を見据えた運行方法の検討を常に行い、利便性の向上、効率的な運行の両立を目指していく。
13	へき地児童生徒援助費等補助金事業	学務係	4	5	4	へき地補助金の対象となる事業(医師派遣事業、心臓検診、スクールバス購入事業)については、制度を最大限活用している。
14	学校保健及び学校環境衛生事業	学務係	4	5	4	学校保健、学校環境衛生を保つため、各種検査・点検を計画的に実施し、学習環境の衛生管理に努めた。
15	児童生徒及び教職員健康管理事業	学務係	4	5	4	学校保健安全法に基づき児童生徒・教職員の健康診断の実施と事後措置を行うことにより、健康状態を把握し疾病等の早期発見・早期治療を勧め、健康管理、保持増進を図った。 令和2年度から行っている胃がん検診と、ストレスチェックを継続して行った。
16	日本スポーツ振興センター事業	学務係	4	5	4	児童生徒の不慮の災害に備えて、同センターの災害共済給付契約を結び、学校管理下において児童生徒が災害に遭った場合、その治療費や見舞金の給付を保護者に対して行っている。
17	中学校体育奨励事業	学務係	4	5	4	中体連大会等県大会以上の大会に出場する学校に対して経費の助成を行い、保護者負担の軽減を図り、中学校スポーツの振興を図っている。 大会では、顕著な成績を収めた。
18	学校給食運営事業	学務係	4	5	4	「食」を通じた生活習慣の形成を図ることを目的に児童生徒への安全で安心な学校給食の提供及び運営に努めた。 食料品の高騰の影響を踏まえ、一食あたりの単価の値上げを実施した。 県の交付金を活用し児童生徒分の無償化を実施した。
達成度・・・1＝未達成			2＝期待以下	3＝ほぼ達成	4＝期待どおり	5＝期待以上
必要度・・・1＝低い			2＝やや低い	3＝普通	4＝やや高い	5＝高い
方向性・・・1＝廃止・休止			2＝縮小	3＝整理統合	4＝継続	5＝拡大

令和7年度 教育委員会事務事業点検及び評価表

No.	事 務 事 業 名	担当係	達成度	必要度	方向性	総合点検及び評価
19	生活指導協議会事業	学務係	4	5	4	学校と関係機関及び団体が連携し、地域ぐるみで児童生徒への非行防止や長期休業中の安全指導体制の充実を図った。ゲーム、SNSなどを発端に生徒指導上の問題へ発展している例が町内でも確認されており、情報を共有しながら未然防止や迅速な初期対応に努めた。
20	特別支援教育研究事業	学務係	4	5	4	教育上、特別な支援を必要とする児童及び生徒を対象に一人一人のニーズに応じた適切な支援ができるよう研究・研修に努めた。 また、町内小・中学校の特別支援教育コーディネーター等が日々の実践等を情報交換できる機会を3回設けた。
21	教育支援委員会事業	学務係	4	5	4	就学予定者、すでに在学している学齢児童生徒のうち、障害が疑われたり、日々の生活での困り感を抱えていると推察される児童生徒のため、教育内容や方法を適切に選択できるよう保護者等に助言するために、対象児の障害の種類・程度、必要な教育支援について専門的な立場から調査や審査を行い、教育委員会に答申した。 対象者の現況把握のため、公認心理師に教育心理学的調査を継続して依頼しており、客観的な指標を基に対象児の理解と配慮事項の検討、関係者への確実な伝達に努めた。
22	外国青年招致事業（JETプログラム事業）	学務係	4	5	4	中学生を対象に国際感覚の育成、語学力の向上を目的として、さらに、小学校での外国語科に対応するため、2名の外国青年を招致している。外国に対する興味・関心を深め、コミュニケーション能力を高めるために欠かせない事業である。
23	情報教育の推進事業	学務係	4	4	4	SNSでのトラブルを未然に防ぐため、児童生徒に対しての啓発活動だけでなく、保護者に対しても参観日を利用した講習会等を開催した。
24	校務支援	学務係	4	5	4	管内小中学校の事務を円滑に進めるため、校内LANを構築し運用している。今後もシステムを運用するため保守を行った。 業務の効率化や負担軽減、校務の情報化を図るため、校務支援システムの一部を導入している。
25	高等教育修学支援資金貸付事業	学務係	4	5	4	高等教育に励み、より高度な教育技術の錬成に努める者を支援するため、奨学金を貸与している。借入者数については増加傾向にある。 R3(3人)、R4(3人)、R5(5人)、R6(6人) R7(8人)
26	高校生等通学支援事業	学務係	4	5	4	当町の独自施策であり、令和3年度から事業を実施している。 当町に在住する高等学校等の生徒の保護者に対し、通学費用等を助成した。親元を離れ、寮や下宿、アパート等から通う生徒も対象としている。 一人あたり30,000円（年額）を支給した。 対象者：98名（2,940千円）
達成度・・・1＝未達成			2＝期待以下	3＝ほぼ達成	4＝期待どおり	5＝期待以上
必要度・・・1＝低い			2＝やや低い	3＝普通	4＝やや高い	5＝高い
方向性・・・1＝廃止・休止			2＝縮小	3＝整理統合	4＝継続	5＝拡大

令和7年度 教育委員会事務事業点検及び評価表

No.	事 務 事 業 名	担当係	達成度	必要度	方向性	総合点検及び評価
27	深浦町小学生「生きる力」育成研修会	社会教育係	4	5	3	子どもたちが現代の便利な日常から離れ、自然の中で共同生活を行うことにより、自主性や協調性を養い、たくましく「生きる力」を身に付けるため、アドベンチャーキャンプを実施した。 令和7年度は雨天のため岩崎ふれあいと創造の館において、テント設営、火おこし、竹飯ごうカレーづくり、バケツプリンづくり、棒パンづくり、貝殻・シーグラスフォトフレーム工作、モルック大会を実施した。参加者24名。
28	町民講師「ふかうら達人倶楽部」活用事業	社会教育係	3	4	4	町内に在住する住民の中から専門的知識や特殊な技術を持っている人を発掘し、広く町民の学習機会の際に活用を図り、生涯学習の一層の資質向上と地域教育力の向上を図るため実施した。 延べ利用者数43名。更なる利用促進を図っていききたい。
29	生涯学習フォーラム事業	社会教育係	5	4	4	一流の音楽に触れ芸術を楽しむ感性・創造力を育むとともに、町にルーツを持つアーティストとの交流を通し郷土への理解と愛着をより一層深めてもらうことを目的に、岩谷明石氏（ヴァイオリン）・詩織氏（チェロ）の姉妹による講話と演奏体験会を含むミニコンサートを開催した。 町内外から90名の参加をいただき、盛況のうちに終えることができた。
30	深浦町生涯学習センター整備事業	社会教育係	4	5	4	令和4年度末で閉校した旧青森県立木造高等学校深浦校舎を町の社会教育・生涯学習の拠点施設として利活用するため整備計画を進めている。令和10年度4月の開館に向け、整備工事に係る実施設計業務や資料展示室等整備調査業務等を令和7年度に実施した。
31	スポーツ講座事業	社会教育係	4	5	4	【新緑の巨樹・古木を巡る大戸瀬地区ウォーキング】 町の自然や文化財に触れ、参加者同士の交流を深めながら、参加者の健康促進や運動不足の解消を目的として実施。大戸瀬地区約4.5kmを解説を交えて散策。参加者29名 【ハロウィンウォーキング】 深浦町の観光施設を巡りながら親子のふれあい・参加者同士の交流を行うとともに、参加者の健康増進や運動不足解消につなげるため実施。資料館・美術館、文学館、風待ち館3箇所のスタンプラリー。参加者23名 【スノーフェスティバル】 雪上での競技を通し、冬期間の運動不足の解消と、親子や家族、参加者同士の交流を深めることを目的として実施。町民体育館サッカー場でスノーフラッグ・雪上かるたなど6種目を実施後、昼食会をした。参加者48名 【軽スポーツフェスティバル】 全町民を対象に軽スポーツの普及とスポーツ活動の推進することを目的として開催。体力・運動能力調査と軽スポーツ3種目（ラダーゲッター、シャフルボード、ユニカール）を実施した。参加者24名
32	体育施設管理事業	社会教育係	4	4	4	町民の体力向上と健康増進を目的として、町民体育館・武道館の修理し、維持管理に努めた。
33	町立小・中学校の施設の開放事業	社会教育係	4	4	4	管内小学校の体育館を開放し、地域住民や児童生徒のスポーツ活性化及び健康増進を図った。 【利用団体】 修道小学校（野球、卓球） いわさき小学校（ソフトバレー、バドミントン、野球）
達成度・・・1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上						
必要度・・・1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い						
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大						

令和7年度 教育委員会事務事業点検及び評価表

No.	事 務 事 業 名	担当係	達成度	必要度	方向性	総合点検及び評価
34	旧青森県立木造高等学校深浦校舎運動場一般開放事業	社会教育係	4	4	4	旧青森県立木造高等学校深浦校舎運動場を町民及びスポーツ団体に無料で一般開放し、健康増進及びスポーツ活動の活性化に努めた。
35	文化財保護事業	歴史民俗資料館	4	5	4	指定文化財の保護や普及啓発に関する事業を行った。御飯屋周辺の景観保全のための環境整備事業等を行った。今後も指定文化財保護事業を計画的に実施する。
36	文化財保護団体の育成支援事業	歴史民俗資料館	4	5	4	郷土芸能伝承活動を行っている団体に対し補助金を交付し、団体の育成及び郷土芸能伝承・保存に努めた。 後継者不足が深刻化しているため、後世に残していくための手段を探ることが今後の課題。
37	巨樹・古木保存事業	歴史民俗資料館	4	5	4	美しい自然の緑が人々の心にうるおいをもたらす巨樹・古木又は樹林を郷土の象徴としていつもまでも保存するための事業を行った。 緑の募金事業を活用し、関八幡宮のヤチダモの薬剤散布業務等を行った。
38	深浦町小中学校俳句大会事業	深浦町公民館	3	5	4	当町の次代を担う小中学生の斬新な発想と素直な目から生まれる句を募集し、地域文化振興の基となる「小中学校俳句大会」を実施した。管内小学生85名、中学生51名の参加があった。
39	文化祭及び作品展示事業	深浦町公民館	3	4	4	町民の文化活動の成果として、サークルや教室・講座の日頃の作品を披露し、文化の香り高い町づくり推進のため実施した。 また、文化祭作品展及び町内文化施設の来場者数の増加を目指し、「文化の日」を少しでも町民に意識してもらい、町の文化を見つめ直すきっかけ作りをするため、ふかうら文化ウィークスタンプラリーを実施した。 ○深浦町公民館文化祭作品展 令和7年11月1日（土）～2日（日） 入場者数：308人 【内容】 展示物：588点 出品者数：19団体、8個人 陶芸体験19人参加 ○ふかうら文化ウィークスタンプラリー 令和7年11月1日（土）～16日（日） 参加人数：155人
40	各種教室・講座開催事業	深浦町公民館	3	5	5	町民とふれあい・交流を深めることにより、文化の振興と指導者の育成に努めるため開催した。 ○レベルアップ教室 ・編み物教室、パッチワーク教室 ○運動教室 ・ヨガ教室、ズンバ教室（出前含む） ○環境学習、食育講座（3小学校）31人参加 ○親子ふれあい教室（幼児を持つ親子） 8家族27人参加 ○栄養教室（3回）26人参加 ○クリスマスリースづくり教室13人参加 ○手前味噌づくり教室10人参加 ○お金と暮らしの話13人参加 ○キッズフェスティバル（親子）100人参加 ○本館を拠点として活動しているサークル団体（15団体）
達成度・・・1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上						
必要度・・・1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い						
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大						

令和7年度 教育委員会事務事業点検及び評価表

No.	事 務 事 業 名	担当係	達成度	必要度	方向性	総合点検及び評価
41	文化祭作品展事業	公民館 岩崎分館	3	4	4	作品展示の他、茶会、産直食堂、産直販売、フリーマーケットを催した。 また、県立郷土館特別移動博物館展示体験や脳の体力測定も会場内で実施し好評であった。 開催日：令和7年11月1日(土)～2日(日) 入場者数：326人 展示物：445点 出品者数：13団体、17個人
42	生涯学習事業	公民館 岩崎分館	3	3	4	地域住民が互いに学び合い交流できる機会として各種サークル活動等の支援を実施した。 サークル活動(4団体) ・陶芸サークル ・白神サークル ・書道教室 ・茶道教室
43	図書活動事業	公民館 岩崎分館	3	3	4	図書室のスペースを利用する場面はあるが、貸出図書の利用者は減少している。 蔵書冊数：6,231冊 貸出図書数：6冊
44	社会文化会館の施設利用	公民館 岩崎分館	3	5	4	各種講座・教室の他に幅広い方々の会議会場等として活用された。 「レッツふかうら南児童クラブ」開設場所として活用され使用頻度が多い。 レッツ利用者(児童)：4,099人 その他延利用者数：2,333人
45	ふれあいと創造の館の施設活用	公民館 岩崎分館	3	5	4	サークル活動や各種教室、報告会等で幅広く活用された。 宿泊施設としても活用できることから、児童生徒や学生等の事業でも利用された。 避難所としての機能も兼ねており、総合的に必要度が高い。 延利用者数：2,816人
46	文化祭作品展事業	公民館 大戸瀬分館	3	4	4	食堂、作品の展示、野菜販売を行った。 深浦町公民館大戸瀬分館文化祭作品展 令和7年11月1日(土)～2日(日) 入場者数：380人 【内容】 展示物：620点 出品者数：14団体、7個人
47	生涯学習事業	公民館 大戸瀬分館	3	3	4	地域住民がお互いに学び合い、心触れ合う社会参加の実現を目的に実施した。 サークル活動(3団体) ・大正琴サークル・生きがい活動サークル ・書道教室
48	図書活動事業	公民館 大戸瀬分館	3	3	4	図書の利用を促進し、地域住民に対して読書普及に努めた。 蔵書冊数：867冊 貸出図書数：56冊
49	大戸瀬分館の施設利用	公民館 大戸瀬分館	3	5	4	大戸瀬分館は、各種講座・教室の他に各種会議の会場や「レッツふかうら北クラブ」など広く活用されている。地域のニーズが大きいことから今後も継続する。 レッツ利用者(児童)：5,801人 その他延利用者数：2,481人
達成度・・・1＝未達成 2＝期待以下 3＝ほぼ達成 4＝期待どおり 5＝期待以上						
必要度・・・1＝低い 2＝やや低い 3＝普通 4＝やや高い 5＝高い						
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝整理統合 4＝継続 5＝拡大						

令和7年度 教育委員会事務事業点検及び評価表

No.	事 務 事 業 名	担当係	達成度	必要度	方向性	総合点検及び評価
50	歴史民俗資料館運営事業	歴史民俗資料館	3	5	4	縄文時代から近代の歴史、民俗、自然、考古の郷土資料の常設展示により、文化の薫り高い町の促進に努めた。 常設展では「一本松遺跡出土土偶」、折曽の関出土の「古瀬戸瓶子」を展示した。
51	歴史教室開催事業	歴史民俗資料館	2	5	4	町内小学校2・3学年を対象に、郷土の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、郷土への興味と理解を深めるため実施した。 昭和期の生活用具や民具について説明し、現代のものと比較し、当時の人びとの暮らしを学習した。いわさき小学校4人の利用があった。
52	美術館運営事業	美術館	3	5	4	美術館で所蔵する絵画等を展示する「常設展」と、県内外で活躍する作家の「企画展」を開催し、芸術にふれる機会を提供した。企画展アドバイザーの助言により、安田晋司氏（むつ市）、荒谷ひとみ氏（つがる市）、川端広氏（黒石市）の企画展を開催し、723人が来場した。
53	絵画コンクール開催事業	美術館	3	5	4	町内小中学校児童生徒に自由テーマで作品を募集し、子どもたちの感性や創造力を育むことを目的に実施した。 小学校158点、中学校92点の応募があり、審査員2名により審査を行い、入賞者には賞状と記念品を贈り、広報ふかうらに掲載した。 作品は2月3日～3月1日まで美術館で展示し、広く町民に展覧した。
54	文学館運営事業	ふかうら文学館	3	4	4	深浦町の文化・観光の拠点として、「太宰治」、「成田千空」各氏の書簡や色紙及び深浦にゆかりのある文人の資料等を展示し、深浦町の薫り高い文化を町内外へ周知し、利用促進に努めた。 町民文化事業への支援としては、俳句・川柳の会への会合場所の提供をするなど活動支援を行った。
55	図書活動事業	ふかうら文学館	3	4	3	資料の充実を図るため、図書を計画的に購入し、12,235点図書を揃え来館者に提供した。 （購入98冊、寄贈68冊） 館内は利用者の利便性を考慮し、児童図書室には赤ちゃん絵本コーナー、廊下には一般書のうち比較的高頻度で利用される料理や家庭医学関連の書籍を集めたコーナーを設置するなどして工夫した。 また、県立図書館はじめ県内外の公共図書館との相互貸借を通し、利用者の希望する資料を提供できるよう努めた。 乳児と保護者を対象としたブックスタート事業、及び親子で読み聞かせ推進事業を開催した。
56	子ども司書養成講座事業	ふかうら文学館	3	4	4	読書の輪を広げるために、本好きな子どもたちを読書リーダーに養成する講座。 本の知識や図書館の仕事等を学んでもらい、読書活動の推進と学校図書館の活性化を図ることを期待して開設。対象者は小学4～6年生。 実施期間：令和7年7月23日～25日 参加人数：2名 （いわ小6年1名、修小4年1名） 会 場：ふかうら文学館 内 容：座学及び五所川原市立図書館見学
達成度・・・1＝未達成			2＝期待以下	3＝ほぼ達成	4＝期待どおり	5＝期待以上
必要度・・・1＝低い			2＝やや低い	3＝普通	4＝やや高い	5＝高い
方向性・・・1＝廃止・休止			2＝縮小	3＝整理統合	4＝継続	5＝拡大